

夏季高温対策をメインテーマに銚田市農業三士交流会が開催されました

令和6年1月30日（火）に、ホテルニュー麻生において、市長出席のもと、近年の夏季高温対策をメインテーマに、茨城県農業経営士協会鹿行支部銚田分会主催で、銚田市農業三士交流会（農業経営士、女性農業士、青年農業士）が開催されました。農業三士、講師（大学講師、各メーカー、共済組合）、銚田市役所、当普及センターで計37名参加しました。

当普及センターでは、農業経営士銚田分会の役員と協議し、近年の夏季高温による農作物の被害抑制について研修したい、との要望を受けて、講師の選定を行いました。

メイン講演として、茨城大学農学部・望月講師より、「高温障害発生のメカニズムとその対応について」と題した講演をいただき、高温時では同化産物が茎葉に行く品種の方が良い、メロンの果実内発芽とABA濃度の関係、夏秋イチゴで活性酸素抑制物質の効果を研究中とのお話をいただきました。また、屋根散水や遮熱資材メーカー（被覆資材と塗布資材）から資材の情報提供いただき、高温での収量減への事前対応として収入保険についても共済組合から情報提供いただきました。また、新任の農業経営士及び青年農業士から自家の経営について、経営理念や経営概要、今後の目標などのお話をいただきました。

参加者からは、イチゴの糖度に影響を与えている環境、資材の抑制温度や効果的な使用方法、散水での濡れ具合など、数多くの質問が出て、有意義な研修会となりました。

普及センターでは、今後も続くと考えられる夏季高温に向けて、その対策を検討し、産地の経営体の経営改善を支援していきます。

銚田普及センター（成長産業）

